

表紙：クラフト“あおむしとはっば”  
自分でやってみよう!という気持ちが日に日に強くなり、  
キンダーキッズでの生活を楽しんでいるトドラークラスの子どもたち。  
「Caterpillar is happy!」と言いながらあおむしのお顔を描いていました。  
春に向かってあおむしのようにどんどん大きくなってちょうちょにな〜れ!!

未来をひらく 思いをつたえる

# Hirakû

2

いろんなアイデアを  
お待ちしております!

「Hiraku」では、英語・幼児教育の  
最新ニュースやトピックなど皆さまに  
役立つ情報をお届けいたします。

- ・最近気になっていること
- ・取り上げてほしい話題
- ・新しいコンテンツ etc...

皆さまからのご意見・ご要望を  
お待ちしております!

「Hiraku」編集部  
TEL : 06-6135-0150  
Mail : hiraku@kinderkids.ed.jp



Hirakû

2019年3月発行 Vol.2

次回5月末  
発行予定

株式会社キンダーキッズ  
TEL : 06-6135-0150  
〒530-0033 大阪市北区池田町 3-1  
ぶらら天満ビル 2F

www.kinderkids.com

AI時代到来! 幼児期に育むべき「非認知能力」とは?

日本の心と、英語の力。Kinder Kids inc.



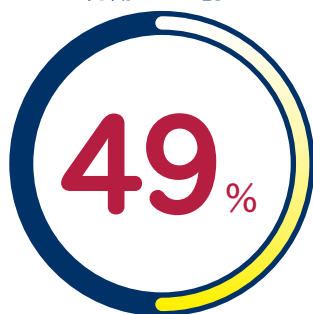
## AI 時代到来！ 幼児期に育むべき「非認知能力」とは？

### 近い将来、今ある職業の半分がなくなる！?

ここ数年、世界中から注目を浴びている人工知能（以下 AI）。私たちの身近な生活の中にも、AI を導入し実用しているところが増えてきました。これから AI が発展していくことで将来、これまで人が行っていた労働の 49% が AI やロボットに置き換えられる可能性が高く、今ある職業の半分がなくなるとも言われています。

しかし、オックスフォード大学のマイケル・オズボーン准教授は、「無くなるのは仕事ではなく、機械的な作業であり、これからは、より創造性を生かしたり、社会性を求められたりする仕事が残るだろう」\*1 と述べています。これからの時代は、AI に仕事を奪われるのを恐れるのではなく、AI と共存しながら人間にしかできない「創造性」や「社会的知性」を発揮することが大切だと言えるでしょう。それでは AI が持っていない力 = 「人間力」を育むには今、何をすべきなのでしょう。

AI などによる代替可能性の高い労働人口の割合



2025 ~ 2035 年における日本の推計

\*1  
2016 年 10 月 26 日朝日新聞 特集記事  
朝日地球会議 2016」における発言より

### これから必要な、AI 時代を生きるための力

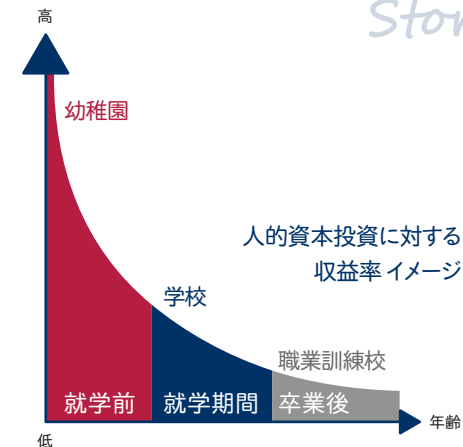


EQ（非認知能力）は「心の土台となるもの」であり、生涯のあらゆるシーンで重要になると言われています。

### 非認知能力、いつ伸ばす？

1960 年代、アメリカで行われた「ペリー-就学前プロジェクト」の実験によると幼児期に適切な教育を受けた子どもは IQ だけではなく、EQ（非認知能力）が高く、その効果は大人になってからの幸せや経済的な安定につながっているという結果が出ています。

さらに興味深いのが、教育\*2 を行う時期です。右図にもあるように最も収益効果が高いのは、就学前であり、その後は低下の一途であることがわかります。人格形成に大きな影響を与える幼児期に、人間力の土台となる“非認知能力”を育むことが最も重要と言えるでしょう。



\*2  
しつけなどの人格形成や、健康・体力づくりも含む

### 非認知能力を養うためには…

非認知能力=生きる力とは、自ら課題を見つけ、自ら考え、自ら問題を解決していく力のことです。キンダーキッズでは、日々の保育の中で子どもたちの挑戦する心を大切に、上手くいかない時でも「この方法がダメだったら、別の方法を試してみよう」と提案しています。こうした経験をたくさん積み重ねることで、失敗を恐れない勇気や物事をやりぬく力を育てています。もちろん非認知能力は家庭でも大きく伸ばすことができるのですが、気をつけたいのが子どもへの声のかけ方です。「もう宿題は出来た?」「歯は磨いた?」と子どもの行動についつい口を出してしまうことはありませんか? 私も子育て中の身として、その気持ち・親心はよくわかります。しかしこれは子どもの「自制心」を育ちにくくする原因に。そんな時は、過度に干渉して口を出すのではなく、見通しをもって行動できるよう子どもに時間を決めさせるのも良い方法です。「宿題は〇時までには終わらせる」と自分で決めることで責任感が生まれ、主体的に行動できるようになるのです。子どもの自立を促すためには何でも先回りせず温かく見守ってあげたいですね。「非認知能力」を伸ばすためには家庭での子とのかかわりが不可欠です。子どもたちが社会に出てから困らないよう、幼児期の今から一緒に必要な「人間力」を育てていきましょう。



主任保育士 高瀬宏子



Interview

# Higashi Osaka

School



東大阪校マネージャー 高橋 真樹子

東大阪校は一言でいうと「アットホーム」なスクールだと思います。

小さなスクールなので、すべての先生がすべての子どもたちのことを知っていますし、子ども同士の距離もすごく近くみんな仲がいいですね。異年齢の交流にも力を入れているのでスクール全体が家族のような感じです。そして東大阪校は先生や保護者、子どもたちもみんなが自分の学校が一番だと思っています(笑)。先生たちが自分の仕事に誇りを持って働いているのを見るとすごくうれしいですし、保護者の皆さまも東大阪校に愛着を持ってくれているというのは本当にありがたいことだと思っています。あと、スクールの特徴としては、先生たちがみんな個性豊かです。それが Xmas コンサートの演出にも生かされていて、ダンスや歌を教えるのが上手な先生もいれば、構成を考えてまとめるのがすごく上手な先生もいる。先生たちが自分の得意なことを生かして関わっているので、子どもたちも自分ができることに自信をもって取り組めるんですね。



大阪府東大阪市中新開2-6-26



Interview

# Myrica

School



ミリカ(吹田校)マネージャー 山下 香織

当園は、関西の中でも国際色豊かな街として知られるミリカシティの敷地内にあるスクールです。

街びらきと同じ時期に開校したということもあり、街と一緒に成長してきたような感じがありますね。地域の小学校、中学校とも職業体験や社会見学などを通じて交流も多いですし、毎日近くの公園に遊びに行くのですが、近隣の方もよく声をかけてくれます。インターナショナルな園でありながらも、街全体で子どもたちを見守っている昔ながらの良さを持ち合わせた園だと思います。

またロング保育の子が多いので、一日のほとんどを園で過ごす子どもたちにとって温かい家庭にいるような居心地の良い保育を心がけています。そしてミリカ校は子どもも、先生もとにかく明るくて元気!保育を通じて普段から自分の思いを言葉で伝えることを意識しているので、自分のことを積極的に表現できる子が多いですね。去年の夏休みにカナダ校に短期転園した K3 とドラーの姉弟は、初めての場所、しかも異文化という環境の中でも二人とも英語で困ることは全くなく、すぐに馴染んで毎日がとても楽しかったそうです。



大阪府吹田市千里丘北1-23



このように物おじしない性格や新しい環境への適応能力は先生やお友達との関わりの中で生まれていると感じます。これからも地域に根ざした園として街の方にもキンダーキッズのことをもっと知ってもらいたいと思いますし、保護者の皆さまとの交流の機会をもっと増やしていきたいです。日本人の先生だけではなくネイティブの先生たちも保護者の皆さまとたくさんお話ししたいと思っているので、どんどん声をかけてくださいね。



## Staff

## スポット

## ライト



東大阪校のキッズに聞いてみました!

キンダーキッズのなにが一番好き?

- 1 友達がいっぱいいる
- 2 英語を話すことができる
- 3 先生が面白い・先生が大好きだから

ミリカ校のキッズに聞いてみました!

一番好きな遊びはなに?

- 1 レゴ
- 2 ロンドンブリッジ
- 3 ダンス
- 4 園庭にある電車の遊具

## Message from Andy

### Grad Club



CEO Grad Club  
アンディ アッシャー



今年度もいよいよ終わりを迎えようとしています。

皆さんにとってどんな一年だったでしょうか。

グラッドクラブでは、プライマリーレベルのレッスンに新たなオリジナル教材を導入することで、より魅力的な学習内容を提供できたと思っています。

さらに、机に向かって勉強するだけでなく、英語を使った様々な活動でたくさん外に飛び出しました。

中でも夏休みは多くのイベントがあり、体験を通じて一人ひとりが大きく成長する姿を間近で見られたことを何よりもうれしく思っています。サマーキャンプでは、私たちスタッフも一緒になりおおいに楽しみました。キャンプファイヤーで輪になって歌ったり、マシュマロを焼いて食べたり、ウォータープレイでみんなと水しぶきをかけ合ったことなど…どれもかけがえのない思い出です。

オーストラリア研修では、英語圏の国で2週間もの間、家族と離れ、ホストファミリーとの生活、現地の小学校での授業、そして違う文化で暮らすお友達との交流など様々なことを経験しました。グラッドクラブメンバーの新しい生活に順応する力は本当に素晴らしく、子どもたちが自信を持って世界に飛び出していく姿を見届けることは私たちににとっての誇りです。

11月にはスピーチコンテストがありました。子どもたちがステージに立って堂々とスピーチをする姿にはとても感動し、大きな可能性を感じました。毎週のレッスンやイベントなど、あらゆる機会皆さんの姿を見ることができ、今年度も素晴らしい一年でした。さて、来年度がもうすぐ始まります。メンバーとは引き続き一緒に学べることを心から楽しみにしています。K3から進級する新しい仲間も加わりさらに賑やかになることでしょう。これからも皆さんの英語教育をサポートできることを楽しみにしています。また、グラッドクラブのイベントでお会いしましょう！

Andy Usher



# Overseas School Report

## ハワイ校で オープンハウス開催!

1月26日、ハワイ校で Open House が開催され、地元の方を中心に100名以上の方にお越しいただきました。ウェイン園長のプレゼンテーションでは、キンダーキッズのカリキュラムや教育方針について説明があり、これまでにないユニークかつ革新的な英語教育に保護者の皆さまも熱心に耳を傾けていました。

そして、プレゼンテーションの間、子どもたちはキンダーキッズの保育を体験。先生たちとお話したり、一緒にクラフトを作ったり触れ合いを楽しみました。そのほか風船や Tattoo シールのプレゼントなど、様々なアクティビティを用意していましたが、一番人気だったのが消防車体験! 地元の消防士の方が4名も来てくださり場を盛り上げてくれました。間近で見ることがめったにない消防車の中に子どもたちも興味津々。実際に消防車の中に入って色々な道具を見せてもらい、みんな大喜びでした。

またこの日のために、先生たちは園内にフォトブースを作り撮影会を行いました。こちらは大いに盛り上がり、撮影した写真は記念としてフォトフレームに入れてお持ち帰りいただきました。

保護者の皆さまも実際に新しい学校を見学したことで、ハワイ校への期待がさらに高まったようでした。そして嬉しいことに今回参加してくださった方の多くがハワイ校への入園を希望して下さっており、ハワイにも多くのキンダーキッズファミリーが誕生し、ともに学べるのが今から楽しみです。

